

受付番号	11	受付月日	2月12日
		午前・午後	1時30分

東郷町議会議員

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

新東会

議席番号

10

番氏名

加藤 宏明

印

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 地域コミュニティ活動の見直しと改革及び共助推進について（提案を含め）	<p>(1) 各地域コミュニティ団体の実情と活動内容の見直し検討及び組織改革提案について伺う。</p> <p>ア <u>消防団組織</u>→活動内容、各団員数、募集方法・近年加入実績、平均活動期間、年間活動支援金額を伺う。</p> <p>イ <u>女性防災クラブ</u>→活動内容、各地区割当団員数、募集方法、活動期間、年間活動支援金額等について伺う。</p> <p>ウ <u>自主防災クラブ</u>→活動内容、部隊数・団員数の推移、募集方法、平均活動期間、年間活動支援金額等について伺う。</p> <p>エ <u>民生・児童委員</u>→46名の活動内容、募集方法、各地区割当数、平均活動期間等について伺う。</p> <p>オ 防災組織を一元化し、現在の実情にマッチした新たな防災助け合い組織への検討が急務と考えるが当局のお考えを伺う。</p> <p>(2) 避難行動要支援者の現状と名簿の活用状況について伺う。（災害時要援護者も含む）</p> <p>ア 避難行動要支援者名簿作成の現状と更新頻度等について伺う。</p> <p>イ 個別計画の現状を伺う。</p> <p>ウ 訓練の現状及び計画状況を伺う。</p> <p>エ 民生・児童委員との連携及び支援者の共有状況等について伺う。</p> <p>オ 各自治区の取り組み（訓練を含め）状況と連携団体の体制等について伺う。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>(3) 子ども会、シニア(老人)クラブ、自治会の見直し及び組織改革について伺う。</p> <p>ア 1月実施の子ども会アンケートの内容と結果分析について伺う</p> <p>イ 役員任命や役員のなり手不足から加入を見送り、脱退者も散見され解散子ども会も見受けられる。新たな子ども会、シニア(老人会)クラブの組織変更、規約変更が必要と考えるが、当局の意向はないか伺う。</p> <p>ウ 清水自治区のSKC活動について詳細な説明を伺う。</p> <p>エ 対象町民なら誰でも無料で加入でき、事務作業はアドバイザー＝行政経験者(退職者)が担い、共助を推進する組織が必要と考えるが当局の意向・指導はないか伺う。</p> <p>オ 町単位の各種イベントを地区開催に移行し、その分の予算を各自治区に割り当て、各自治区の繋がりや共助推進に役立てる見直しの検討も必要と考えるが、お考えを伺う。</p> <p>カ 各種事業補助金(子ども会や老人会)の一元管理(資源ごみ回収費や地域活動費等を含め)を各自治区に移行させれば事務軽減が進み、活動に専念できると思うが、改善について伺う。</p> <p>(4) 各自治区(区役場・コミュニティセンター)の活動内容の見直しや役員選出方法の見直し、自治会加入費の見直しなどの検討について当局の意見・考えを伺う。</p> <p>ア 各自治区運営者のアドバイザー(縁の下の方)＝行政退職者や行政事務経験者の採用・雇用が必要と考えるが検討について伺う。</p> <p>イ 各種自治区団体を一元管理し、サブ組織(子どもたち・シニア世代、お隣さん・青年男女)で「助け合う仕組みづくり」を構築する必要があると思うが、考え方や推進について伺う。</p> <p>ウ 自治会費の有無や役員選任に縛られない、ご近所意識、共助意識、自治会運営</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>参画を目指したいが、当局としてどのように考えておられるのか伺う。</p> <p>(5) ゴミ回収集積場所問題で、各自治区の対応が無秩序であると思われる、この状況を当局としての考えを伺う。 ア ゴミ回収業務について、行政の関与はどこまでか、伺う。 イ 自宅前に置く地区もあれば、200m先まで運んでいる地区もあり町内でバラバラである。その地区のルール見直しの検討はされているのか伺う。 ウ 回収場所の確保（購入・借入含め）の現状と実態について伺う。 エ ゴミ回収集積場のゴミ回収箱の設置等の計画の検討はあるのか伺う。 オ 資源回収（プラごみ含む）の助け合い組織の形成について伺う。</p> <p>(6) ご近所、隣組（15～30戸）単位の小規模単位の「助け合いの仕組み」の備えが必要を考える、検討について伺う。 ア 提案→1単位、年額10万円の補助で町全体1億円未満の予算投入で、ご近所の防災・ゴミ問題などの「助け合い組織」が強固になり、共助の意識が町全体に浸透する足掛かりになる、検討について伺う。</p> <p>(7) 共助推進の具体的な施策を伺う。 ア 今後どのような分野で共助施策を仕掛けられるのか伺う。 イ 共助推進の火付け役としての当局の考えを伺う。</p>	

（注）要旨は、具体的に記載すること。